

## 特殊詐欺防止へ団結

多治見署とバローHDが共同宣言

カートに警戒啓発ステッカー

多治見署は26日、多治見市若松町のスーパーマーケットバロー多治見店で、バローホールディングス(HD)との特殊詐欺被害防止の共同宣言を行った。小木曾智昭署長とバローHDの篠花明常務がショッピングカートに特殊詐欺への警戒を呼びかけるステッカーを

貼り、来客に注意を促した。署管内では特殊詐欺の被害が多発しており、集客力のある施設で、被害に遭いやすい高齢者ら来客に被害防止を訴えようと企画。多治見、土岐、瑞浪の3市のバロー10店舗でカートに「警戒！特殊詐欺」と記したステッカーを貼ることに

した。セレモニーでは篠花常務が「地域住民の大切な財産を守るため広報啓発活動や、ATMコーナーで携帯電話を使用している人への声かけなどを推進し、特殊詐欺被害撲滅に取り組む」とする共同宣言を読み上げた。小木曾署長は「有数の食料品店の協力が得られて



ショッピングカートに貼る警戒ステッカーを篠花明常務に手渡す小木曾智昭署長(左)＝多治見市若松町、スーパーマーケットバロー多治見店



カートの手元に貼られた警戒ステッカー

ありがたい。大きな成果が上がれば」と期待。篠花常務は「店は地域のために運営している。お客さんの目に付く形で啓発できれば」と語った。(小森直人)